

平成 18 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 石原 潤

最終学歴	1968年3月京都大学大学院文学研究科博士課程中退
取得学位	文学博士
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、歴史地理学会、東北地理学会、地理科学学会、名古屋地理学会、奈良地理学会、日本南アジア学会、史学研究会
現在の専門分野	人文地理学、アジア地域研究
研究課題	農村地理学の研究、伝統的市の研究、中国の地域研究、南アジアの地域研究
<p><b>【研究上の特記事項】</b></p> <p>平成17～19年度科学研究費基盤研究(A)「中国西北地区の改革開放および西部開発の進展にともなう生活空間の変容」研究代表者。同プロジェクトにより、平成18年8月～9月に中国甘肅省酒泉市において現地調査を実施。</p> <p>1</p> <p>平成16～18年度科学研究費基盤研究(A)「東アジアとその周辺地域における伝統的地理思考の近代地理学の導入による変容過程」研究分担者。</p> <p>2</p>	
<p><b>【教育上の特記事項】</b></p> <p>1 3年次生対象の大巡検「道東の自然・経済・文化」を平成18年6月12日～16日に実施。</p> <p>2 3年次生対象の日帰り巡検「神戸の震災とその後の復興」を平成18年12月3日に実施。</p> <p>3 2年次生対象の日帰り巡検「琵琶湖疏水と京都の近代化」を平成18年5月7日に実施。</p>	
<p><b>【社会的活動】</b></p> <p>1 日本地理学会会長</p> <p>2 文部科学省教科用図書検定審議会委員、同地理小委員会委員長</p> <p>3 日中地理学会議長</p> <p>4 人文地理学会協議員(平成18年11月まで)</p> <p>5 高の原カルチャーサロン「奈良大学地理学講座」にて講演、「中国都市の諸問題」(平成18年10月7日)</p> <p>6 奈良大学文学部地理学科公開講座「シルクロードのオアシス空間」(平成19年2月24日) 主宰・講演</p> <p>7 岡山県高校教育研究会地理分科会にて講演、「現代中国都市の諸問題」(平成19年2月19日)</p> <p>8 奈良大学地区別教育懇談会(金沢)にて講演、「いま中国の都市で起こっていること」(平成18年9月10日)</p>	
<p><b>【学内活動】(学内職歴を含む)</b></p> <p>1 文学部長</p> <p>2 学科増設検討委員会委員</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1石原 潤・溝口常俊 「南アジアの定期市」	共著	2006年 10月	古今書院	科研費海外学術調査による一連の調査の集大成。
2石原潤・趙榮・秋山元秀・小島泰雄編 「西安市と陝西農村の変貌」	共編著	2006年 8月	奈良大学文学部 地理学科	科研費基盤研究(A)による調査の報告
(学会発表) 1酒泉市における蔬菜の流通システムについて	単著	2007年 3月	日本地理学会大会 中国地理研究グループ集会	科研費による現地調査結果の報告。
2中国の集市について 革命後の変遷と現状	単著	2007年 3月	日本地理学会大会	会長講演として従来の研究の総括と今後の展望。
(その他) 元会長西村睦男先生の御逝去を悼んで	単著	2006年 6月	「人文地理」58巻3号	本学元学長・人文地理学会元会長・西村睦男先生の追悼文